

山 遊 会

沿 革

幕別町山遊会は会の発足以前、各職場単位で好きなもの同志が集まり登山を行っていたものを、昭和47年5月に宮内伸夫（当時幕別駅勤務）、泉敏夫（幕小）、南条信一、飛鳥正幸（当時新田ベニヤ現在ニッタクス）が中心になって発足した。以来25年になる。

発足当時会員数は42名を数えたが以後は年々新規加入者が少なく、転勤・結婚等で徐々に減っていった。一時会員数が10名にも満たない時もあり、年2回の町民登山を計画するのがやっとのこともあった。平成に入ってからは新規加入者が一人二人とあり会員が増え始め、特に女性会員の加入は最近の登山ブームの先取りであった。

また、ここ5年くらいは教育経験者の加入が目立ち現在会員数は30名になっている。

会の活動は6～10月までの5ヶ月間に月1～2回程度の登山計画で行っている。町民を対象にした登山は、昭和48年から、毎年7月中旬には町主催の町民ハイキングの集いに共催。昭和54年からは、山遊会独自の計画によるちょっと本格的な町民登山を9月初旬に開催。平成2年からは、町教育委員会共催で行われていた町民ハイキングの集いをやめ、山遊会の主催で夏山登山として実施しており、1年に計2回の町民登山を行っている。会員対象では年1回バスを借りて縦走を行っているほか、月1回程度登山を実施している。平成5年よりそれまで別個に活動していた十勝ハイマート（登山の会）の主力メンバーが、山遊会に加入したことで計画の立案が速やかに行われ、毎週計画されるハイマートの登山会には逆に山遊会の会員が参加している。

活 動 記 録

（昭和63年～平成8年）

昭和63年7月10日	第16回町民ハイキングの集い	白雲山（1,187m）	77名	
9月11日	第11回町民登山	緑岳（2,019m）	66名	
平成元年7月9日	第17回町民ハイキングの集い	白雲山	81名	
9月10日	第12回町民登山	赤岳（2,078m）	83名	
平成2年7月22日	第1回町民夏山登山	赤岳	85名	
9月16日	第13回町民登山	緑岳	67名	
平成3年7月21日	第2回町民夏山登山	赤岳	80名	
9月22日	第14回町民登山	高原温泉沼巡り	93名	熊出没で高原沼
平成4年6月21日	会員	アポイ岳（810m）	5名	曇り
6月28日	会員	旭岳（2,290m）	4名	晴れ
7月19日	第3回町民夏山登山	白雲山	81名	雨模様で東雲湖
7月21日	会員	白雲山（2,229m）	7名	晴れ
7月27日～28日	会員	夕張岳（1,668m）	5名	27日雨28日晴れ
8月1日～2日	会員	芦別岳（1,727m）	6名	曇り

	8月23日	会員	ウペペサンケ(1,836m)	4名	小雨
	8月29~30日	会員	羊蹄山(1,893m)	7名	曇り
	9月13日	会員	緑岳→白雲岳→緑岳	6名	晴れ
	9月20日	第15回町民登山	赤岳	66名	気温低く第三雪渓
	9月23日	会員	石狩岳(1,966m)	5名	快晴
平成5年	6月13日	会員	アポイ岳	20名	歩くスキーと共催
	7月18日	第4回町民夏山登山	赤岳	71名	晴れ
	8月8日	会員	トムラウシ山(2,141m)	5名	晴れ
	8月29日	第16回町民登山	緑岳	66名	気温低く第三雪渓
	9月4~5日	会員	ラウス岳(1,660m)	5名	風と霧
	9月23日	会員	十石峠→音更山→シュナイダーコース	10名	霧の中30分迷う
平成6年	6月12日	第5回町民夏山登山	アポイ岳	92名	晴れ 腕骨折者有
	7月24日	会員	赤岳→白雲岳→緑岳	18名	晴れ
	7月31日	会員	原始が原→富良野岳(1,912m)	11名	登口解らず原始原
	8月7日	会員	五色岳(1,868m)	5名	風と霧で五色が原
	9月18日	第17回町民登山	雌阿寒岳(1,499m)	69名	雨のため6合目
	9月23日	会員	ユニ石狩岳(1,745m)	10名	風と霧で頂上は氷
	10月2日	会員	カムイヌプリ(857m)	12名	晴れ
平成7年	6月4日	会員	ペケレベツ岳(1,532m)		歩くスキー悪天候で中止
	6月18日	第6回町民夏山登山	アポイ岳	69名	晴れ
	7月16日	会員	黒岳(1,984m)→緑岳	17名	山の上は雲の中
	8月6日	会員	富良野西岳(1,331m)		悪天候で中止
	9月17日	第18回町民登山	黒岳	79名	初めてロープウェイ利用
平成8年	6月16日	第7回町民夏山登山	アポイ岳	66名	晴れ
	7月14日	会員	黒岳→北鎮岳(2,244m)→永山岳(2,046m)	18名	足下悪く予定OVER
	9月1日	第19回町民登山	赤岳	76名	雨のため中止



1994年 第1回の大雪山縦走 18名
銀泉台→赤岳→小泉岳→白雲避難小屋
→緑岳→高原温泉



1996年 第3回の大雪山縦走 18名
層雲峡→黒岳→石室→北鎮岳→比布岳
→安多呂間→永山岳→愛山溪

現在の活動状況

平成9年役員

会 長	橋 本 猛 夫	体育連盟理事	橋 本 猛 夫
副 会 長	三 好 信 一	代議員	三 好 信 一
会 計	木 村 徳 男		木 村 徳 男
幹 事	齊 藤 八 郎		
〃	吉 田 照 男		
〃	土 井 栄 子		
〃	佐 藤 道 子		
監 査	和 田 伸 一		
〃	長 谷 江 美 子		

平成9年度活動記録

- 6月15日 会員 十勝岳
- 7月6日 第8回町民夏山登山 雌阿寒岳 54名 晴れ
- 7月27日 姿見駅→旭岳→熊ヶ岳→裾合平→姿見駅 16名
- 9月14日 第20回町民登山 赤岳 71名 晴れ

展 望

会員の構成

最近は、マスコミに取り上げられるくらい、中高年の登山ブームと言える。山遊会においても、会員が増えるのは歓迎するが、若年層の新規加入者は少なく、中高年層が増えてきているのは、時代を反映していると言える。会の構成年齢を考えたとき、結成時20歳代の人はすでに50歳代で、10年後はどうなるのか心配である。それ故、これからは若者に加入を呼びかける必要がある。

町民登山

町民登山の対象としての山は、近間でバスで登山口まで行けるところは、すでに行き尽くしていると考えている。これから先も、繰り返し同じ所へ行くことになり、いつも参加する人にとっては、行きたくなくなる。参加者を募集しても集まらず、せっかくバス2台手配したのが無駄になることも考えられる。これからは、バス1台ですむ人数の募集にした方がよいと考えている。(他町村の登山会では、バスを何台も連ねて来るのは見たことがない)